

2月17日

伝統の水かけまつり

千代田町大島地区で、伝統の「水かけ祭り」が行われました。

五穀豊穡や無病息災を願って300年近く続いている伝統行事で、英彦山神社を参拝する1ヵ月前に身を清める儀式として受け継がれてきました。

日が沈み始めた午後6時前、気温は5度前後、バケツを持ったふんどし姿の男衆がクリーク周辺に集まりました。両端に分かれてクリークの水をくみ上げると、威勢のいい声を上げながら何度も水を掛け合いました。

地区住民や写真愛好家らが詰めかけ、掛け合うたびに歓声が上がりました。



2月3日・4日

リベンジ果たし県優勝

第35回九州中学校バレーボール選抜優勝大会佐賀県予選会が行われ、神埼中学校女子バレー部が県1位に輝きました。

新チーム19人となった新人戦では惜しくも県3位。リベンジに燃え、地区予選を勝ち抜き見事優勝を勝ち取りました。

キャプテンの樋口慶さん(神埼町小津ヶ里)は「目標としていたので嬉しい。中体連では九州大会で優勝する」と意気込みを語りました。

優勝を受けて、チームは沖縄で開催される九州大会に出場しました。



3月1日~4日

人形に魅せられて

脊振の魅力を発信している「脊振を愛する会」が主催する「人形の家」の一般公開が行われました。

脊振町広滝東の岡段邸には故岡段澄子さんが生前に収集した世界の人形2000体が飾られています。ご家族の協力のもと、今年は岡段さんの娘さん手作りの人形も畳の部屋に展示しました。

4日間限定の公開でしたが、地元住民から市外の方まで500人以上の来場者でにぎわいました。



2月16日

沿道の声援を力に

県内33区間(272.8km)を3日間かけて駆け抜ける第58回郡市対抗県内一周駅伝大会が開催されました。市内からは神埼・吉野ヶ里チームとして、中学生から社会人まで男女14人が力走し、一丸となつてたすきをつなぎました。

初日は神埼市内もコースとなり、中継地点のショッパーズサピエ前や千代田支所前には多くの市民がかけつけ、大きな声援が送られました。

神埼・吉野ヶ里チームは、昨年からの順位を2つ上げる総合8位の成績で見事敢闘賞を受賞しました。





3月13日

とっさの行動が命救う

神埼町尾崎東分の柳川愛さんが、西郷小学校から善行賞の表彰を受けました。

夏休み、近所のおばあさんが畑でもたれかかっている姿を発見。すぐに家族に知らせ様子を見に行くと、意識がありません。救急車を呼び、うちわであおんだり、氷で体を冷やしたりして、一命を取り留めました。発見が遅かったら命の危険もあったそうです。

成富健次校長は全校児童に「気づいて正しい行動を起こすことが大切」と愛さんのように行動を起こしてほしいと呼びかけました。



3月9日

感謝の気持ちを胸に巣立つ

市内の小中学校で卒業式が行われ、小学生315人、中学生279人が学び舎を巣立ちました。

千代田中学校では101人が卒業を迎えました。糸山和男校長が一人ひとりに卒業証書を手渡し、「これまで支えてくださった保護者や先生、地域の方々の重みを、卒業証書に感じてください。みなさんのことを応援し続けます」と言葉を贈りました。

卒業生を代表して荘山翔太さん(千代田町姉)が「家族や先生には感謝の気持ちでいっぱい。立派な大人になって恩返しをしたい」と答辞を述べました。



3月14日

元気にこつこつ 活動に感謝状

市老人クラブ連合会千代田支部にアルミ缶リサイクル協会から感謝状が送られました。

支部では、23年間にわたり毎年4回、アルミ缶を回収しています。活動期間が長く、回収量が多いことが評価され、資源の乏しい日本で循環型社会のために取り組んでいると、全国の団体の中から見事選ばれました。

古賀俊弘支部長は「こつこつ取り組んできたことの積み重ねが評価された。元気を保ち、これからも続けていきたい」と喜びを語りました。



3月

山寺のひなまつり

脊振町倉谷の宝光寺の本堂で毎年恒例の「山寺のひなまつり」が開催されました。

緋毛氈が敷かれた堂内には、500体ほどのひな人形や住職の妻筒井八千代さんが描いた絵が展示され、来訪者を魅了しました。また、檀家の皆さんがボランティアで尺八やハーモニカの演奏会を行うなど、県内外から訪れたたくさんの人が山寺のひなまつりを楽しみました。

また、宝光寺では3月末から川面に映った桜並木が絶景で人気となっています。



明治維新150年記念特集 ①

幕末から昭和初期にかけて各界で活躍した
神崎の偉人たちを紹介いたします。



神崎が生んだ偉人たち

伊東玄朴

(上)

伊東玄朴は、幕末から明治にかけて、日本の近代西洋医学の道を拓いた先駆者の一人。漢方医が主流の時代、蘭方医の立場を公的に高め、天然痘の予防医療とその普及に尽力しました。
今回は、玄朴がどのように成長していったのかをみていきます。

—仁比山での少年時代—

伊東玄朴は、幕末の寛政12年(1800年)に現在の神埼町仁比山に生まれました。

12歳の時、仁比山不動院の玄透和尚から3年間学問を学びます。不動院は、現在の九年庵の場所に位置し、九年庵には今もその石段が残っています。玄朴の孫が記した『伊東玄朴伝』によれば、「玄朴は毎朝、仁比山神社に参拝するが神社の祭典には興味がなく、「一心に読書をしていた」と、子どもの頃から勉強家だったようです。

15歳で医を志し、隣村の漢方医古川左庵に入門、18歳のとき自宅で漢方医として開業しました。

その後、佐賀藩蘭学の祖といわれる佐賀城下の蘭学者島本良順に入門し

ます。良順は、玄朴の才能を見抜き、長崎留学をすすめ、玄朴は長崎で知識を積んでいきます。

運命的な
シーボルトとの
出会い

—長崎修行時代—

当時の長崎では、オランダとの貿易にオランダ通詞と呼ばれる通訳が活躍していました。玄朴は、良順の知り合いの安禅寺に住込みながら、代々通詞の家柄である猪俣家に通い、本格的

な蘭学を学び始めます。ここでは特に語学力を身につけることになりました。
当時の玄朴は「鐘の音とともに起き、寺僧とともに雑役が終わってから、猪俣家に通って勉強をしていま



安禅寺跡

新緑と歴史の
『九年庵』

紅葉で有名な「国の名勝九年庵」、そこはかつて「不動院」というお寺で、玄朴が幼少時代に学問を学んだ地。九年庵やその周辺には、玄朴の歩んだ歴史が残っています。

5月3日からは、日頃立ち入ることのできない「九年庵」が3日間限定で公開されます。新緑の風情を味わいながら、玄朴の足跡を辿ってみませんか。



仁比山神社



伊東玄朴旧宅

九年庵
不動院跡

もみじの湯
(九年庵本部テント)

た。弁当の中身も焼き芋や豆腐かすに冷水をかけた物を食べていたので、伝右衛門の妻が米と魚に交換し、その思いやりに涙した」『伊東玄朴伝』と記されるほど、苦学を重ねていました。
玄朴が長崎に来た翌年の文政6年(1825年)7月3日、シーボルトが長崎に商館医として来日します。シーボルトは、郊外の鳴滝に蘭学塾を開き、オランダ語・医学・植物学・科学等を教えるとともに、診療活動も行います。玄朴も通塾生として、鳴滝塾に通うようになり、このシーボルトとの出会いが後の玄朴に非常に大きな影響を及ぼしていくのです。

つづく

九年庵 春の一般公開

●期間 5月3日(木・祝)～5日(土・祝)

※詳細は17ページ

吉野ヶ里歴史公園から

◎申込・問い合わせ
吉野ヶ里公園管理センター
☎55-9333

物見やぐらの特別登楼体験

物見やぐらに梯子を使って登る「特別登楼体験」
弥生時代遺跡を物見やぐらからご覧いただけます。

※天候等により急遽中止の場合があります。

- とき 4月7日(土)～22日(日) ※土日のみ6日間
10時～15時
- ところ 南内郭
- 参加費 無料



期間限定！春休みイベント

プログラム	日時・場所	定員・条件	参加費
化石割り体験 葉っぱの化石を見つけよう！	4月1日(日)～8日(日) 古代植物館	各日先着100人 年齢制限なし	200円
巴形鋳込み製作体験 巴形銅器を模したレプリカ製作	4月1日(日)～8日(日) 弥生くらし館	小学3年生以上 ※対象年齢以下は保護者同伴	500円
ミサンガづくり体験 組みひもの組み方を変えミサンガを製作します	4月1日(日)～8日(日) 古代植物館	各日先着50人 小学生以上 ※対象年齢以下は保護者同伴	250円

※入場料は別途必要(大人460円/中学生以下無料/シルバー 200円)

文芸コーナー

俳句 〈へびの美会〉

百歳まで生きて見やうか梅開く

藤山 初次

その昔育ちし里の田螺和へ

牟田口則子

沈丁の香りに君を偲ぶ宵

香月富士雄

短髪を吹きわけてゆく桜東風

田原 静子

仏壇の兄は幼子小豆粥

畑石 勝子

春雷にゆだねたる身や明日知らず

内川 繁子

春シヨール赤児を包みたんぼ道

井上 豊美

朝より東風吹いてをり母見舞う

牟田 鶴美

お火焚の火柱高し幸祈る

古賀 恵子

デイサービスピンクの蝶の舞っている

松本 都子

川柳 〈あおはさ〉

風船を蹴るのもつらい傘寿坂

真島 永治

老人の朝は目刺しがあればいい

森崎 寛次

幸せは探すのでなく気付く人

柳郷 勝吉

乗り越えた自負一本の芯になる

佐藤久仁子

防災の訓練すっかり学びます

若菜 花子

娘の見合父がそわそわしています

古川 妙子

一日の始まり野菜刻む音

真島 壽子

眠る子も泣く子も育つ春の雨

吉村 民子

古希祝い笑いつかの間膝立たず

吉岡 明美

短歌 〈神埼短歌会〉

枝にのこる木の葉一枚玻璃戸越し

春めく風に今朝も揺れをり

九十三歳気をつけいしに骨折す

娘に託す今月の短歌

去年よりもほころびおそし梅の花

うす紅色の寒風に震う

朝々に日の出の時刻早くなり

節分過ぎのまぶしき朝陽

冬雨の乾きし庭も花芽吹き

梅も綻び春まぢかかなり

孫学ぶまなび舎への道夫とゆく

向井千秋の歩きし道を

老木の白梅庭に凜として

春の光りに百年を咲く

羽野 智子

納富 茂子

田中 と代

前山ツタエ

城島 孝子

坂井 栄子

中原 幸

中原 幸

山邊 信弘

石田千津代

さつぱりと剪定されし庭の面

すみれたんぼほ咲きて春告ぐ

千代田

石田千津代

あつまれ! かんざきっ子



いとやま うきょう
泉 右恭くん(4歳)
しどう
士道くん(2歳)
【千代田町小森田】

《家族からのメッセージ》
いつも元気いっぱい!!
たくさん笑顔をお願い!♡
これからも兄弟仲良くね!



こさむらい たいが
小侍 大夏くん(6歳)
めい
苺依ちゃん(3歳)
【神埼町の】

《家族からのメッセージ》
3歳の誕生日おめでとう!
お兄ちゃん、小学校入学おめでとう!



どいとみ こうた
土井富 洸太くん(1歳)
【千代田町東野ヶ里】

《家族からのメッセージ》
洸太君 1歳おめでとう♡
これからも元気に大きくなってね!
いつも笑顔をお願い!

子どもの写真 募集中!!

- ◆対象者 平成31年3月31日現在で就学前のお子さん
 - ◆申込方法 ①お子さんの氏名(ふりがな)②年齢③生年月日④申込者の氏名⑤住所⑥地区名(行政区)⑦連絡先 ⑧保護者(家族)からのメッセージ(50字程度)を記載し、申し込み先へメール、郵送または、ご持参ください。
- (注意)・写真の加工(ペイントなど)はご遠慮ください。
・兄妹でご応募の際は、兄妹が1枚に写った写真をご提出ください。
※応募者多数のときは、掲載できない場合があります。

◎申込・問い合わせ 総務課 秘書広報係 ☎37-0088 kouhou@city.kanzaki.lg.jp

有料広告

ぶんぶんテレビ11チャンネル

神埼市長選挙および神埼市議会議員選挙

開票速報

2018年4月15日(日) 21:30

第1回開票発表から最終発表まで

ぶんぶんテレビ

フリーコール 0120-55-3734
〒840-0815 佐賀県佐賀市天神 3-2-24

神埼市の地域情報を見られる
「地デジプラン」は 1,400円+税/月から!